

酢酸エチル取扱いマニュアル

人体への影響

- 吸入すると、**高濃度**では**麻酔作用、気道、呼吸器系の障害**を生ずることがあり、低濃度でも頭痛、めまいを生ずることがある
- 眼に対する**刺激性**がある
- 繰り返し皮膚に触れると、皮膚の脂肪を溶かし、**浸透**しやすくなる
- 管理濃度：200ppm



性質と危険性

- 無色、芳香性の透明な液体で水に溶ける
- 引火点 -4°C** の非常に**引火性が高い**液体である。また、揮発しやすい
- 蒸気は空気より重いので、窪みや床付近など**低い場所では高濃度**となって**滞留**することがある
- 空気と混合すると**爆発性の混合ガス**ができる(爆発範囲:2.2~11.5%)
- 単独でも使用されるが、シンナーとして、数種類の有機溶剤と混合物のことも多い



容器などのラベルの表示やMSDSを注意して見ること

取扱い及び保管上の注意

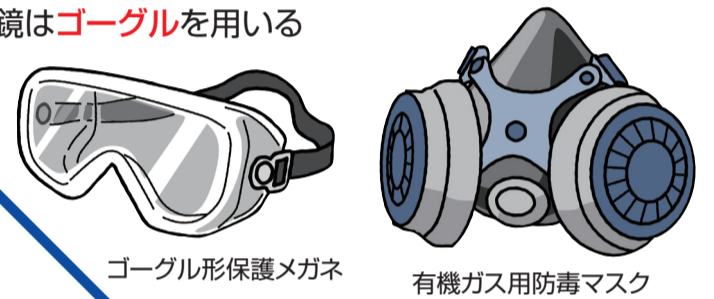
酢酸エチルやシンナーの取扱い作業

- 静電気帯電防止措置**を講じた**作業服、作業靴**を着用する
- 容器等へ注入するときは**接地**を行う
- 作業を**始める前**にまず**換気装置**を稼働する
- 当日の作業に必要な量だけを持ち込み、涼しい場所に置く
- 容器は**使用の都度フタ**をする。使用後の空容器は、フタをして定められた場所に置く
- 有機溶剤等が付着したウエスや紙はフタ付容器に入れ**密閉**する
- 床にこぼした場合は、水で洗い流さないで、乾燥砂や不燃材で吸収して、容器に入れ**密閉**する
- 有機溶剤の周囲では、**溶接、研ま、その他、火花のでる作業**を行わない(たばこ・火気厳禁)
- 酢酸エチルで手を洗ったり、拭いてはいけない



保護具は必要に応じて使用

- 有機ガス用防毒マスク**を装着して作業を行う。保護眼鏡は**ゴーグル**を用いる



ゴーグル形保護メガネ

有機ガス用防毒マスク

危険性



引火性の高い液体・蒸気

健康有害性



呼吸器系の障害



眠気・めまいの恐れ

- 手で取扱う場合には、酢酸エチルが透過しない**専用の保護手袋**を装着する



保護手袋

- 皮膚は露出しないようにし、酢酸エチルが透過しない**専用の作業衣**又は**保護衣**を着用する

作業主任者・衛生管理者に尋ねること
() ()

応急措置

- 吸入して**気分が悪くなった**場合
直ちに**新鮮な空気**の場所に**移動・休息**させ、原則として、**医療機関を受診**させる
- 意識不明・呼吸停止**の場合
直ちに**119番通報**して**医療機関を受診**させる。呼吸停止の場合は直ちに**人工呼吸**を行う
- 眼に入った**場合
まぶたをよく開けて、眼を水道水など流水で15分以上丹念に洗う。痛みが残ったり、見えにくい時は速やかに眼科医を受診させる
- 衣服等に付いた**場合
汚染された衣服、靴を脱がせ、付着部位を石鹼水、温水でよく洗い、気分が悪い場合には医療機関を受診させる



すぐに医療機関に!!

火災時の対応

- 消火には、**粉末消火器、炭酸ガス消火器、泡消火器**を用いる
- 水をかけると、かえって火を広げるので**水はかけない**
- 火災の際、多量の黒煙と有害な**一酸化炭素**が発生するので注意を要する
- 直ちに**消防署(119番)**に通報する



連絡先

社内の連絡先：

医療機関の名称：

☎ (— —)

眼科医の名称：

☎ (— —)

医療機関にはMSDSを持参させること